

氏 名	しゅう たん 周 丹		専 攻	社会学専攻
			指導教授	島村 恭則
研究領域	民俗学、現代民俗学			
研究題目	「ケガレ」概念をめぐる民俗学的研究			
所属学会	日本民俗学会、中国民俗学会、アメリカ民俗学会			
学 歴 (学部入学から)	2011年9月 安徽農業大学 国文学学科 入学 2015年6月 安徽農業大学 国文学学科 卒業 2015年9月 上海大学 文学研究科 入学 2018年7月 上海大学 文学研究科 卒業 2022年4月 関西学院大学 社会学研究科 入学			
教 歴 担当授業科目	2022年4月～2023年3月 関西学院大学社会学部 教学補佐 2023年3月～2024年3月 関西学院大学社会学部 教学補佐			
研 究 業 績				
著書、論文、翻訳、研究報告等題名	発 表 年 月	掲載誌または発表場所	備 考	
【論文】 利用される財神と疎外された住民-天龍堡を例に 禹王に関する考古学的発見とその資源の転換—史跡公園を例に COVID-19 をめぐる<権威メディア>と<隠された声>：現代民俗学の視点から	2019 2019 2020	『地方文化研究』37 『山西大学学报』90 『関西学院大学社会学紀要』139	査読あり、原文中国語 CSSCI、黄景春との共著、査読あり、原文中国語 単著、査読あり	
【著書】 子どもたちへの民俗学：石敢當 世界一面白い現代民俗	2021 2023 (12月予定)	黒龍江少年児童出版社 創元社	黄景春との共著、原文中国語 分担執筆	
【翻訳実績】 震災後における民俗の活用と被災地の現在：南三陸町戸倉波伝谷地区の場合 伝承の命運：「来訪神」の文化遺産化をめぐって	2019 2020	『民間文化論壇』258 『遺産』2	単訳、政岡伸洋原著、査読あり 単訳、島村恭則原著、査読あり	

生活史を語ることの困難：あるハンセン病者の語りから	2020	『遺産』3	単訳、蘭由岐子原著、査読あり
災害エスノグラフィーから災害エスノロジーへ	2021	『遺産』4	単訳、林春男、重川希志依原著、査読あり
ヘルマン・パウジンガーと日本民俗学	2022	『遺産』6	単訳、島村恭則原著、査読あり
【口頭発表】 清代廖燕の交際についての考証	2016	東アジアの再構築：国際青年学者論壇，台中	単独発表、査読あり
沈萬三と聚宝盆：ストーリー構造分析	2017	都市化と文化多様性学術会議，上海	単独発表、査読あり
What Should We Focus on When We Gaze at the Center of the Vortex?: Reflections Based on the Oral History of COVID-19 Frontline Medical Personnel in Wuhan	2022	The 13th Annual CUHK Anthropology Postgraduate Forum, ホンコン	単独発表、査読あり
Effective Categorization : "Fear" of "Medical Personnel" at the Centre of the Covid-19 Vortex	2022	イギリス民俗学会，ロンドン	単独発表、査読あり
日本民俗学会 2022 年年会	2022	日本民俗学会，熊本	単独発表
【競争的資金等の獲得】 市川国際財団奨学金	2023～ 2025	象印マホービン株式会社	奨学生
関西学院大学大学院博士課程後期課程研究奨励金	2023～ 2024	関西学院大学大学院	採用者
【国際交流活動】 イギリス・アイルランド民俗史インタビュー	2023	関西学院大学世界民俗学研究センター	調査代理人